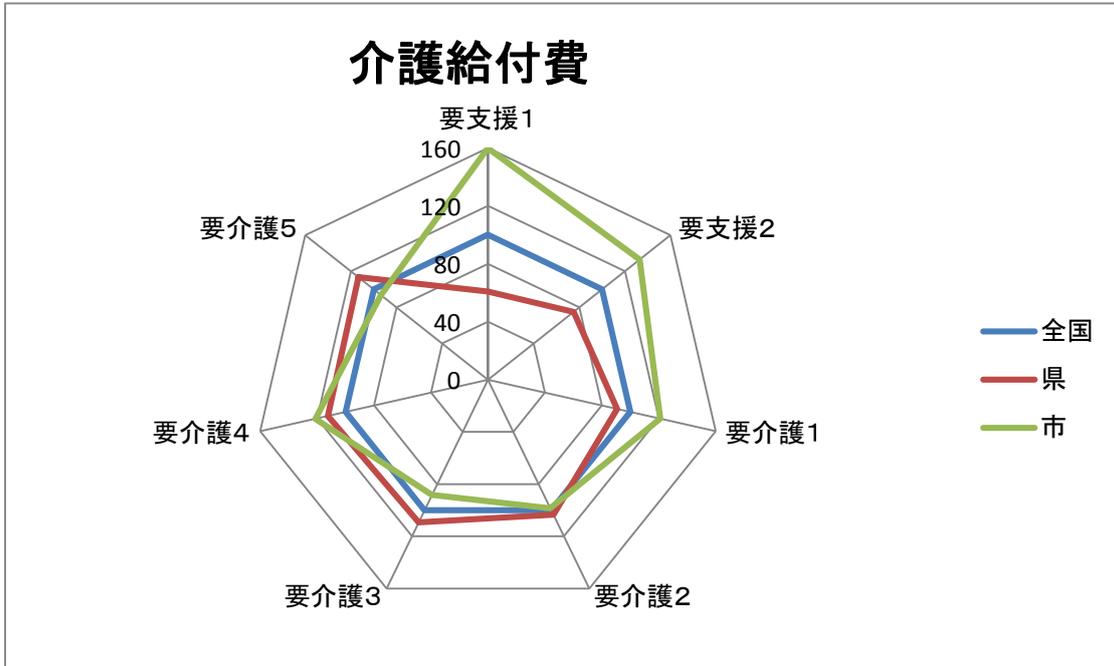


# 会津若松市における介護給付費等の分析

本市の平成 29 年 4 月審査分の介護給付費の給付水準について、全国平均給付額を 100 として、全国、県との比較を行った。

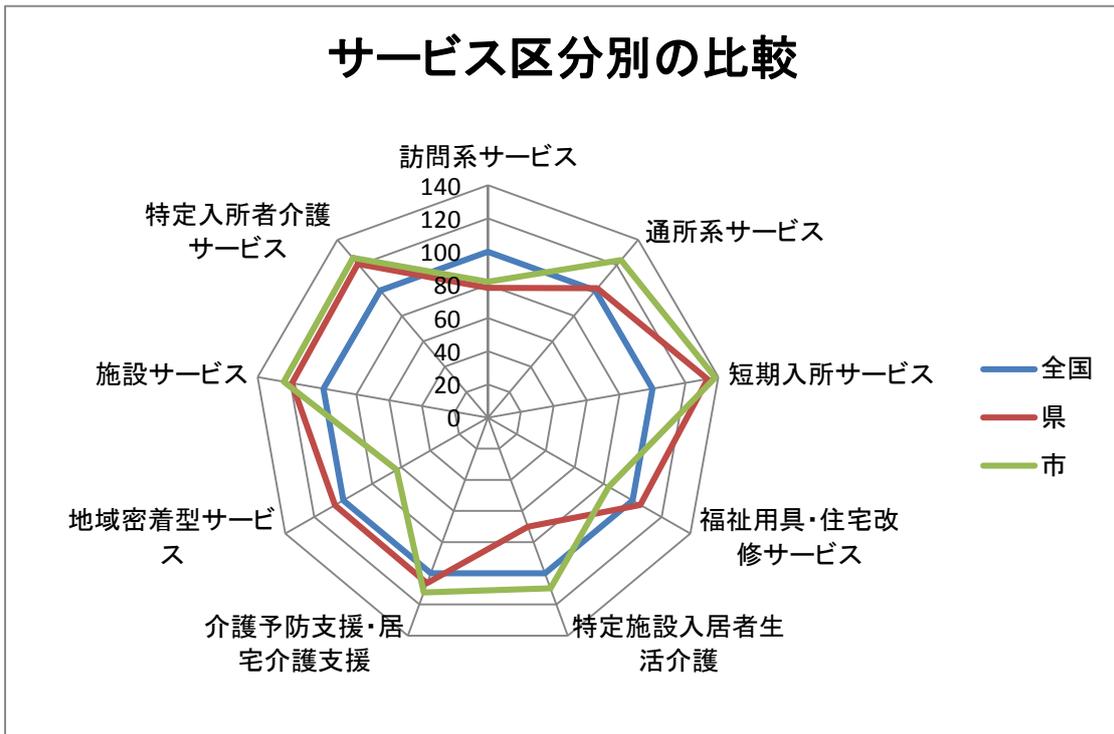
## 1 要介護度別の給付状況

本市では、特に、要支援 1、2、要介護 1 の軽度者に係る給付費用が全国及び県平均よりも高い水準にある。要介護 3、要介護 5 については、全国及び県平均よりも低い水準にある。



## 2 サービス区分別の比較

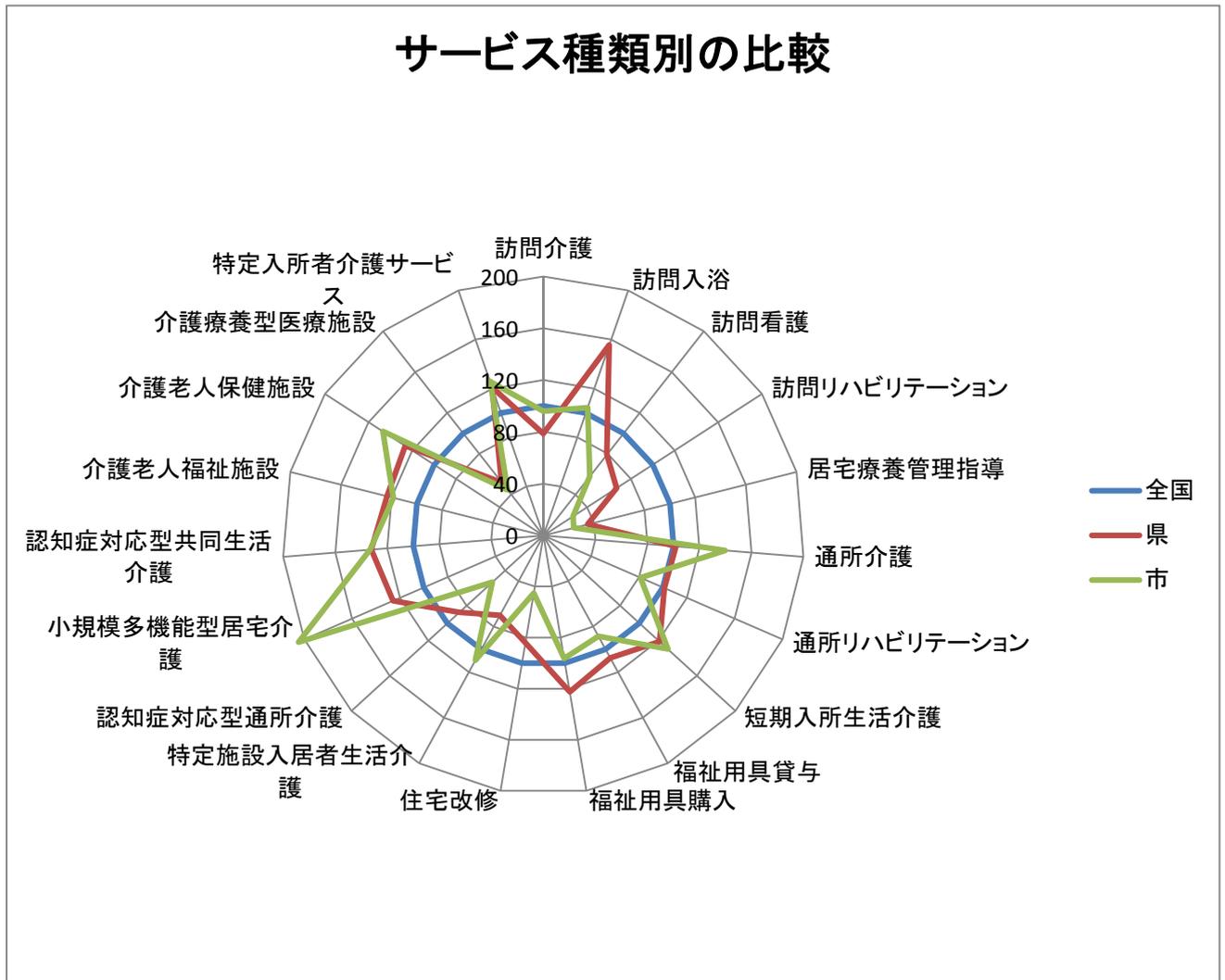
本市は、通所系サービス、短期入所サービス、特定施設入居者生活介護、介護予防支援・居宅介護支援、施設サービス、特定入所者介護サービスにおいて全国及び県平均よりも高い水準にある。一方で、福祉用具・住宅改修サービス、地域密着型サービスについては、全国及び県平均よりも低い水準にある。



### 3 サービス種類別の比較

本市は、通所介護、短期入所生活介護、特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、介護老人保健施設において、全国及び県平均よりも高い水準にある。一方で、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、通所リハビリテーション、福祉用具貸与、福祉用具購入、住宅改修、認知症対応型通所介護、介護療養型医療施設については、全国及び県平均よりも低い水準にある。

介護老人福祉施設、認知症対応型共同生活介護、特定入所者介護サービスについては、全国平均よりも高い水準で、県平均とほぼ同水準となっている。



## 所得段階別要介護(要支援)認定率(H29年度)

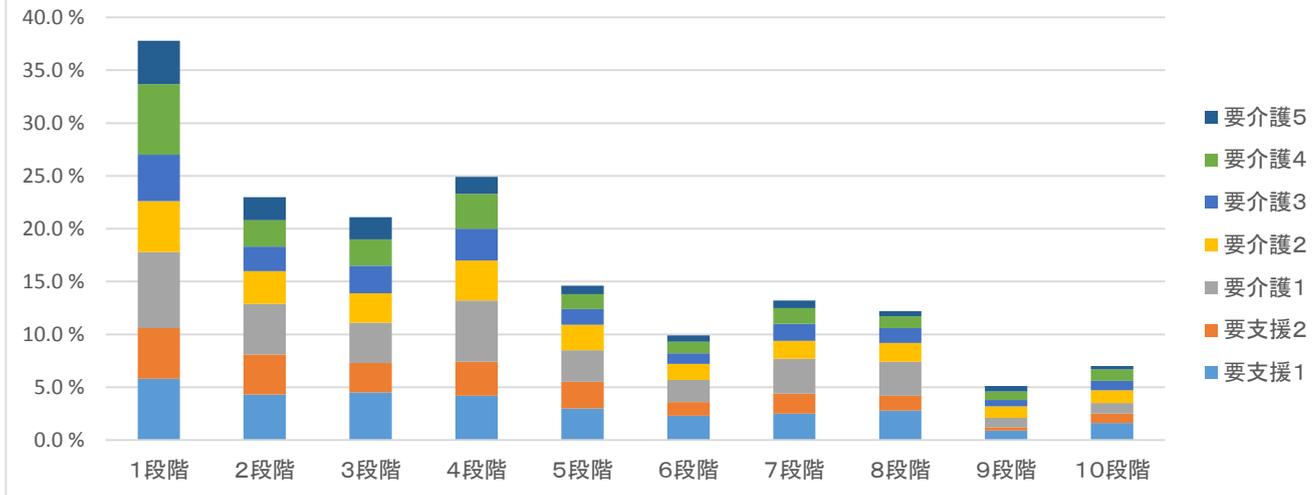
人数

所得段階	被保険者数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定なし	合計
1段階	6,562	378	313	475	316	286	438	266	4,090	6,562
2段階	2,861	123	110	137	88	65	72	63	2,203	2,861
3段階	2,637	118	74	100	75	68	67	56	2,079	2,637
4段階	5,384	226	174	311	207	161	175	86	4,044	5,384
5段階	5,176	153	129	157	124	79	75	43	4,416	5,176
6段階	5,528	128	73	118	82	53	59	32	4,983	5,528
7段階	3,503	89	66	115	61	55	52	23	3,042	3,503
8段階	1,694	47	24	54	31	23	19	8	1,488	1,694
9段階	644	6	2	6	7	4	5	3	611	644
10段階	938	15	8	9	11	8	10	3	874	938
合計	34,927	1,283	973	1,482	1,002	802	972	583	27,830	34,927

認定率

所得段階	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	所得段階ごとの認定率合計
1段階	5.8%	4.8%	7.2%	4.8%	4.4%	6.7%	4.1%	37.8%
2段階	4.3%	3.8%	4.8%	3.1%	2.3%	2.5%	2.2%	23.0%
3段階	4.5%	2.8%	3.8%	2.8%	2.6%	2.5%	2.1%	21.1%
4段階	4.2%	3.2%	5.8%	3.8%	3.0%	3.3%	1.6%	24.9%
5段階	3.0%	2.5%	3.0%	2.4%	1.5%	1.4%	0.8%	14.6%
6段階	2.3%	1.3%	2.1%	1.5%	1.0%	1.1%	0.6%	9.9%
7段階	2.5%	1.9%	3.3%	1.7%	1.6%	1.5%	0.7%	13.2%
8段階	2.8%	1.4%	3.2%	1.8%	1.4%	1.1%	0.5%	12.2%
9段階	0.9%	0.3%	0.9%	1.1%	0.6%	0.8%	0.5%	5.1%
10段階	1.6%	0.9%	1.0%	1.2%	0.9%	1.1%	0.3%	7.0%

所得段階別要介護(要支援)認定率(H29年度)



平成29年度における介護保険料の所得段階別に見た要介護(要支援)認定率については、全体的に、所得段階が高くなるにつれ、要介護(要支援)認定率が低くなっていく傾向にある。特に、1段階における要介護(要支援)認定率が突出して高いことから、低所得者層における介護予防や重度化防止、健康管理などの取り組みが今後の課題である。